

神様からの最高のプレゼント

～2012アセンション日記～



「アセンションのお手伝いをしに、この世に生まれてきた」
この閃きから、10年近く探し求めて、ここにたどり着きました。

アセンションを学び始めて、はや2年。

怖れの雪だるま状態?! だった過去も、
イメージすらできなくなっている自分が、今ここにいます。

土地の磁場調整というライフワークに巡りあい、

最愛のパートナーとジュニアに恵まれて、

アセンション家族に囲まれながら過ごす日々は、
とても幸せです。

愛がわからない、愛なんて◎◎くらえ！！
そんなことを口にしていたのも、今は昔。

アセンションの学びを進めていくうちに、
愛っていいな、愛しかないでしょ、と自然と思えるようになっていました。

特に、2012年。
パートナーとジュニアとの魂レベルの交流から、
真の愛の探求の道のりが始まりました。

その過程で、人類のすべてを背負って十字架にかけられた、
マスター・イエスの心情を感じ、滂沱したことがありました。
それは、愛の歓びでした。

この後、様々な愛の学びと体験を経てはじめて、
その片鱗を実感することになります。

愛することそのものが、何物にも変えがたい喜びであることを、
この時に知ったのでした。

そして、さらに、天孫降臨の地で、
アセンション家族とともに、真の愛に巡り合いました。

親が子を愛し、それに応えて、子が親を愛する。
ともにある喜び。

それが、家族の絆であり、無上の幸せの源でした。

愛が無かったら、愛することをしなかったら、
どこまでも孤独で、味気なく、殺伐とした世の中になるのかを、
これまでの経験から知っています。

だからこそ、今は、最も大切なものが何かが、
ハッキリとわかります。

「愛、そして、愛することができる喜び、それが一番の幸せ」

それは、神様から分け隔てなく与えられている、

最高のプレゼントだと思います。

家族の笑顔に囲まれながら過ごす

何気ないこのひとときが、たまらなく幸せで、

それが2012年のアセンションプロセスそのものだったのだと感じています。

金太郎